

NeXT-212 press

115

オンラインプレス「NEXT212」毎週月曜日発行
PM実践講座事務局 / 地域メディア研究所
Fax (011)761-8483 Tel (011)761-6039

vol.115 17.Mar,2003

ダイジェスト・レポート	活力ある市街地づくりの基本戦略
ふるさと情報	カリスマ職員の部屋
自治体北南	合併後も愛着ある地名を保存
DATA	社会貢献意識ややダウン

究極のムラはどっちだ

...熊本県の^{はくすい}白水、^{くぎの}久木野、^{ちょうよう}長陽の3村による合併協では、合併後「村」とするか「町」にするかが、議論の焦点となった。最終判断は、住民アンケートの結果に託された。住民の声は、3村ともに「村」が過半数を占めた。今村照昭・長陽村長は「自然を生かし、阿蘇山と同様、世界に誇れる村にしたい」と意欲を見せる。

...「村(ムラ)」は人々が「群れる」が語源で、明治以前は村の中にマチ(祭の場)やイチ(市場)が設けられた。ムラはあくまでも、自然や風土、生活空間を日常的に共有する地域の基盤だった。町村制施行で町と村が逆転し、戦後は経済力で賑わう市(都市)に人々が集まり始めたが。

...そう考えると、近年、超高層のマンション群が林立する東京の臨海副都心が「究極のムラ」ということか。しかし、生活空間が分断・階層化されたムラで、人々はどう群れるのか。住民の暮らしや文化を形作る風土が、そこではどんなものなのか。行政単位としては都合が良いようにも見えるが、ちょいと気になる。

...マンハッタン指向に対し、表参道の青山アパート再開発では、櫛並木に沿って低層の街区を形成する計画が進行中だ。重視するのは緑豊かな景観と誰もが歩き、座れる公共空間。これは、共有する価値を守りながら、群れ合い・触れ合う「村の原風景」の再現にほかならない。(梶)

活力ある市街地づくり

推進方策調査研究報告書から

地方分権時代の自主・自立のまちづくりをどう進めるか。住民が主役になった魅力ある市街地づくりは。そんな課題に2年がかりで取り組んだ財団法人・北海道市町村振興協会の「活力ある市街地づくりの推進方策に関する調査研究会」が、市町村の担当者向けに分かりやすく指針をまとめた報告書をダイジェストでご紹介します。

1. 課題の共有からシナリオづくり

報告書は、活力ある市街地づくりを「住民主体による継続性のある取り組み」とした上で、誰もが生き生き暮らせる「生活・交流街」と地域資源を生かした「新たなビジネス・地域ブランド」づくりを住民と行政の協働によって進めることを目標としています。また、目標実現のためのステップとして「シナリオづくり・プログラム実行・マネジメント」のそれぞれについてガイドラインと事例を提示しています。その第一段階が、初動期の仕掛けに当たる「シナリオづくり」で、次のような留意点を挙げています。

課題を共有する

課題構造の整理

- ・ 顕在している問題～客観的資料を整備し、課題構造として分析する
- ・ 潜在的な問題～これまでの結果と今後の展望から予見できる問題は、今後を予測しながら構造究明

- ・ 創造的問題～今後の活動で発生が予測される問題は、いくつかのケースを想定しておく

話し合いの場を設ける

- ・ コンセンサスづくりに十分な時間を取る。特に、「なぜ中心市街地に投資するのか」について

協働のシナリオをつくる

市街地づくりを演出する

- ・ 発想、構想段階から行政職員が参加し、各種情報を提供したり、行政との協働体制づくり

とともに考える

- ・ 活動主体がさまざまでも、行政としての地域づくりのポリシーや役割を明確にするシナリオづくりの基本を踏まえる
- ・ 活動メニュー、整備内容など想定されるシーンを描く
- ・ 地域内の各種団体やグループなどを把握した上で、キャストを想定する
- ・ 活動の展開と継続のための仕組みづくり、ステージづくり
- ・ テーマを探す
- ・ 自然、産業、文化、人など地域が持つ資源を見直す
- ・ 地域課題の共通認識を活動のきっかけとする
- ・ より多くの賛同が得られ、対外的にもアピールする分かりやすいテーマを設定する

主体となる人、グループ、組織の発見

- ・ 活性化に最大の資源となる人材を掘り起こし、活動の主体に。また、市民の視点から住民組織、NPOなどコミュニティ再生の根っこを探し出す。

活動の舞台をつくる

- ・ 多様な参画の機会、場をつくる。空き店舗などを活用して、市街地内に市民活動の拠点をつくる工夫も。

2. 地域特性に応じたプログラム

事業立ち上げの第二段階（実践期）では、活力ある市街地づくりの「プログラム」を考え、実行することが柱となります。

地域特性に応じた実行プログラムをつくる
できるところから事業を立ち上げる

- ・身の丈に合った事業
- ・従来の延長ではなく、価値基準を変えた発想で展開する

教育、福祉、街づくりなど多様な分野やセクターを複合的に組み合わせる

実践例：観光＋商業＋文化の日本大正村（岐阜県明智町）

新たなビジネスや地域ブランドの形成
地産地消やグリーンツーリズムの展開など、
周辺地域や地場産業と市街地との連携

コミュニティ・ビジネスに育てる

【実践例】高齢者福祉と特産のパン、ハムづくりZIZI工房（愛知県足助町）

地域資源の地域内循環を考える

地域ブランドの形成によって活動の輪を広げる

ソフト先行で活力ある市街地を育てる
生活ニーズに対応した多様な場を備える

- ・機能を複合化、集約化した拠点をつくる

【実践例】廃線跡を生かし講演、美術館、物産館、多目的広場などを整備したマリンプラザ（北海道岩内町）

- ・まちなか福祉、居住の場をつくる

実践例：ビジネスホテルを借りての高齢者下宿エバーハウス菜の花（北海道帯広市）

- ・市街地内の回遊を促す観光、交流拠点をつくる

【実践例】下町風情を再現した菓子屋横丁（埼玉県川越市）

人々が集うコミュニティ空間を整備する

- ・空き店舗を活用した市民活動の拠点をつくる

【実践例】総合的な子育て支援を行うコミュニティプラザまちの駅（岐阜県大垣市）買い物や食事、会話を楽しめる高齢者ふれあいコンビニ（北海道美幌町）

- ・コミュニティサポート街区を形成する

- ・情報コミュニティサービスの拠点をつくる
誰もが楽しく歩け、集まれるまちをつくる

【実践例】市

民のメッセージを刻んだ煉瓦敷きの広場（北海道岩見沢市）電動スクーターなどで交通弱者も移動が容易なタウンモビリティ（秋田県鷹栖町）

【地域課題解決型ビジネス分野】

高齢者のための給食サービス

高齢者介護サービス

福祉用品の開発・販売

商店街活性化のための地域会社

高齢者・障害者のための移送サービス

高齢者・障害者のための住宅改造

食用油の回収・リサイクル

保育サービス

【地域資源活用型ビジネス】

地域の主婦の教育によるホームページ作成受託事業

地域ミニコミ誌の発行等

都市・農村交流サービス（宿泊施設運営等）

中高年・高齢者の働く場づくり

有機農法野菜の販売

安全な食材を使ったレストラン

地域在住の外国人に対するサービス

3. 継続のためのマネジメント

活力ある市街地づくりの展開期では、活動の継続とともに、ネットワークを広げながら、総合的なまちづくり組織を目指すことが課題とされています。

活動を継続させる仕組みをつくる

市民活動から行政の縦割りを超える

- ・ 行政職員が活動の輪に加わり、問題解決型コミュニティをコーディネート

- ・ 市民の自発的な活動を支援する企業や行政の資金提供制度「住民ファンド」の設置を検討

【実践例】企業などサポーターから出資を受けNPOに融資する北海道NPOバンク(北海道) 商店街の活性化の調査研究などに資金助成する公益信託函館色彩まちづくり基金(北海道函館市)

地域内の支援体制を強化する

- ・ 地域内外の指導、支援者を得て、常に新たな発想による改革、改善を進める

- ・ マスコミ、パブリシティを活用する

成功体験を積み上げる

市民組織、NPOとの連携を強化する

活動の分野、組織をクロスさせることでソフト事業を動かし、ネットワークを広げる

市民組織、NPOとTMOの連携組織をつくる



文化、教育、福祉など市民組織ネットワークと連携、協働したコミュニティ型TMOを目指す

【実践例】商店街の販促や集客を市民ニーズに対応するコミュニティビジネス、株式会社タウンマネジメント半田(愛知県半田市)

総合的なまちづくり組織をつくる

NPOを支援するインターメディアリー(中間支援組織)づくり

【実践例】NPOが行政と民間の中継役を務める足利まちづくり株式会社(栃木県足利市)

人材、資金面などで民間活力の主体的な取り組みを支援するコミュニティ開発法人を展望する

【実践例】コミュニティにおける住宅開発、中心市街地の再生を目指すコミュニティ開発法人(米国)

(注:巻末に、活力あるまちづくりの取り組みのチェックリストを添付しました。報告書は財団法人・北海道市町村振興協会発行で、資料として先進事例が多数収録されています)

地域メディア研究所の「入門講座」シリーズ

プリントアウト・フリーのCD-Rディスク版を頒布



「町長のための～行政評価入門講座」

「列島再編入門講座～合併に『NO』と言えますか」

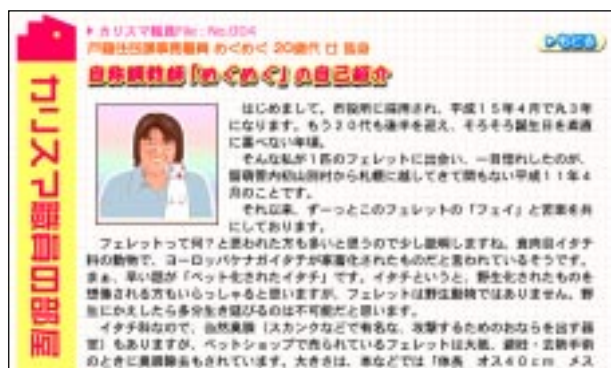
特別付録 / 「NEXT212 総集編」

「全国市町村財政概要 2000 年度版」

詳細・申し込みは <http://com212.com/> で

お問い合わせは 電話 011-761-6039

NeXT212
press

(アクセスは<http://com212.com>からどうぞ)

3/17 札幌市清田区 4人目のカリスマ職員 ユニークコーナー「カリスマ職員の部屋」に4人目のカリスマ職員が登場しています。自称「イタチの調教師」とかで、イタチとの生活について語っています。いろんな職員がいるものです。

3/17 中空知地域任意合併協議会 合併協HP ホームページが開設されています。これまでの会議の開催状況や会議録、関連リンクなどがあります。

3/17 島牧村 合併アンケート調査結果「広報しままき」3月号(PDFファイル)がアップされ、合併問題に対する同村、黒松内町、寿都町のアンケート調査結果がアップされています。

3/17 渡島支庁 グリーンツーリズムガイド 渡島グリーンツーリズムガイド「麦わらぼ

うし」のWEB版がアップされています。管内の「ふれあいファーム」の紹介ページなどがあります。

3/17 函館市 ジェンダー・フリー啓発誌「ジェンダー・フリー啓発誌」のPDF版がアップされています。中学生版と小学生版があります。

3/17 更別村 公共施設有料化を特集「広報さらべつ」の3月号(PDFファイル)がアップされ、検討中の公共施設の有料化について特集しています。

3/17 中札内村 「保っとネット」3月号 村の保健師と管理栄養士からのメッセージをまとめた「保っとネット」WEB版の3月号がアップされています。今回は3歳児健診の結果から、「子供の疲れ」について考えています。

3/8 根室支庁 青少年交流の電子ひろば 管内の学校に通う青少年のための電子掲示板「ねむるITキッズ・コミュニティひろば」が開設されています。入会手続きでユーザーIDやパスワードを取得、情報交換や交流に活用してもらおう試みのようです。

3/8 中標津町 3月で見納めYS11「さよならYS11」とのタイトルで、9月に完全に退役することが決定している戦後初の国産旅客機YS11が、中標津空港では3月で見納めとなることなどが紹介されています。

3/8 清水町 民話集のコーナー「町民話集」のコーナーが新設されています。開町100年を契機に、町の民話・伝説・昔話等を収集し発刊された民話集の中から、7作品を国際デジタル絵本学会のご協力を得て掲載したそうです。

(典)



NEWS

3/15 日光市
(栃木県) パソコン
で図書貸し出し予
約、郵便局が宅配

日光市は、市民が
自宅のパソコンで市
立図書館の貸し出し

図書を検索、予約し、郵便局が本を宅配する「eライブラリー」構築事業を2004年からスタートさせることになった。宅配料金は郵便局の冊子小包扱いで、文庫本の場合200円から。返却は、郵便局や市内の郵便物預かり所で受け付ける(直接返却は無料)。

3/15 由岐町(徳島県) 地域づくり推進
条例を提案

由岐町は、住民団体などによる地域振興事業を支援する「地域づくり推進条例」を議会提案した。日和佐町などとの合併協議と並行して、住民参加型の地域づくりを推進するのが狙い。自主的な地域づくり活動、豊かな自然を残す環境対策、定住促進事業などを対象とし、町内会などの住民団体のほか、住民個人による申請も受け付け、事業化のための補助金を交付する。

3/14 日南町(鳥取県) 合併背景に4県
の「県境サミット」解散へ

広島、島根、岡山、鳥取の4県の県境にある15市町村で構成する中国山地県境市町村連絡協議会(県境サミット)は、2003年度で解散する方向となった。市町村合併の推進により自治体の枠組みが変わってきていることが背景にあり、会長の矢田治美・日南町長は、合併が一段落する2005年度以降、新たな枠組みによるサミットをスタートさせる意向を示した。

3/13 雫石町(岩手県) 議会が議員活動
を調査公開

雫石町議会は、議員の活動日数や一般質問、審議件数などを分類・集計した2002年版の議員活動に関する調査結果をまとめた。1年間

の1人当たりの活動日数は約171日で、そのうち本会議や委員会、全員協議会など議会運営に直接かかわる活動は約66日で、前年より約10日少なかった。一般質問した議員は延べ28人で、全議員の半分以上にとどまった(回答16人)。

3/14 杉並区(東京都) 区長の多選自粛
条例を制定

杉並区議会は、「区長の多選禁止」を公約に掲げ当選した山田宏区長から提案のあった、3期を超えた区長の在任自粛を努力義務とする「多選自粛条例」を賛成多数で可決した。「努力規定」ととどまっている点について山田区長は「条例を無視して立候補すれば選挙にマイナスになり、禁止規定でなくとも実効性は確保できる」としている。

3/11 檜川村(長野県) 水源の森林整備
へ基金条例

檜川村議会は、森林整備基金として水道使用量1トンにつき水道料を1円上乗せして積み立てる「水源地域環境保全基金条例案」を全会一致で可決した。奈良井川下流の松本、塩尻両市の水源ともなっている県営奈良井ダム源流域の森林整備を進めるのが狙いで、積立金は年間約30万円を見込む。両市にも同様の基金作りを呼び掛ける。

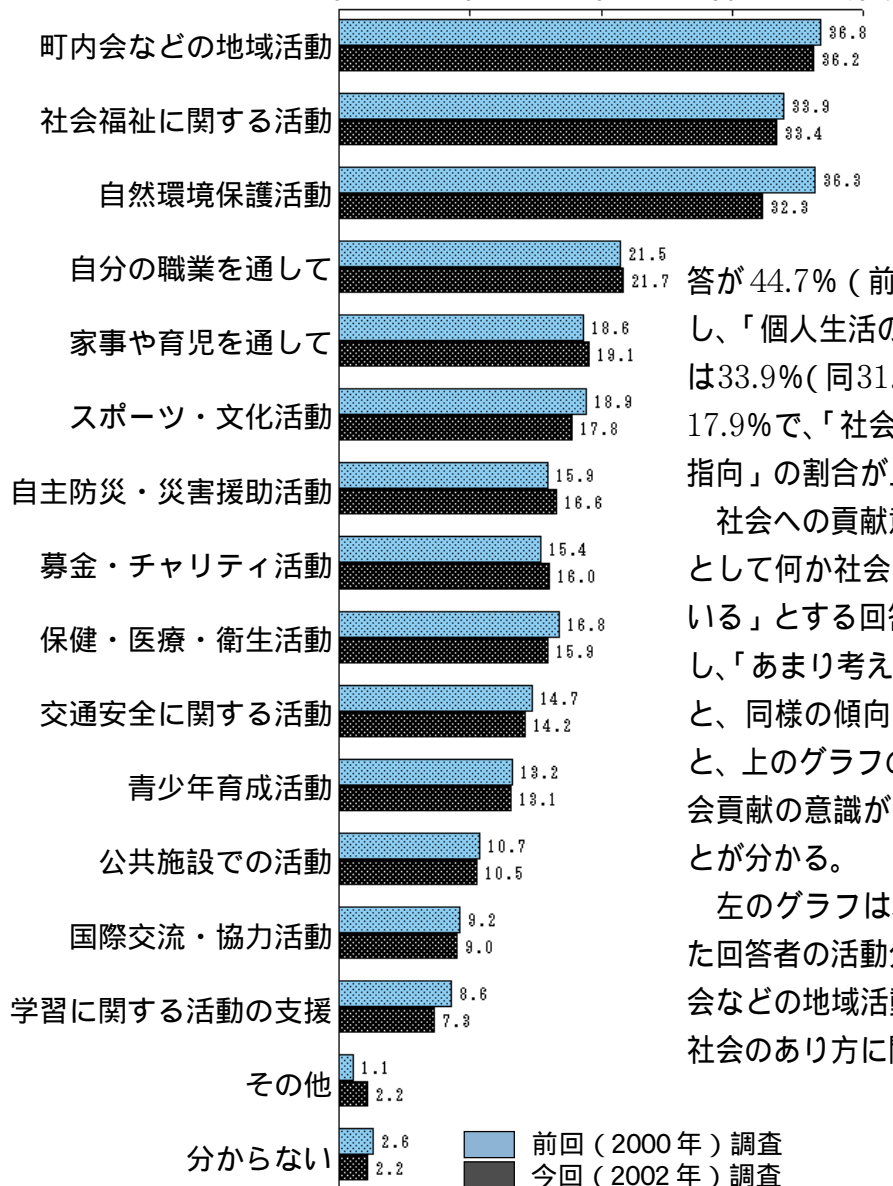
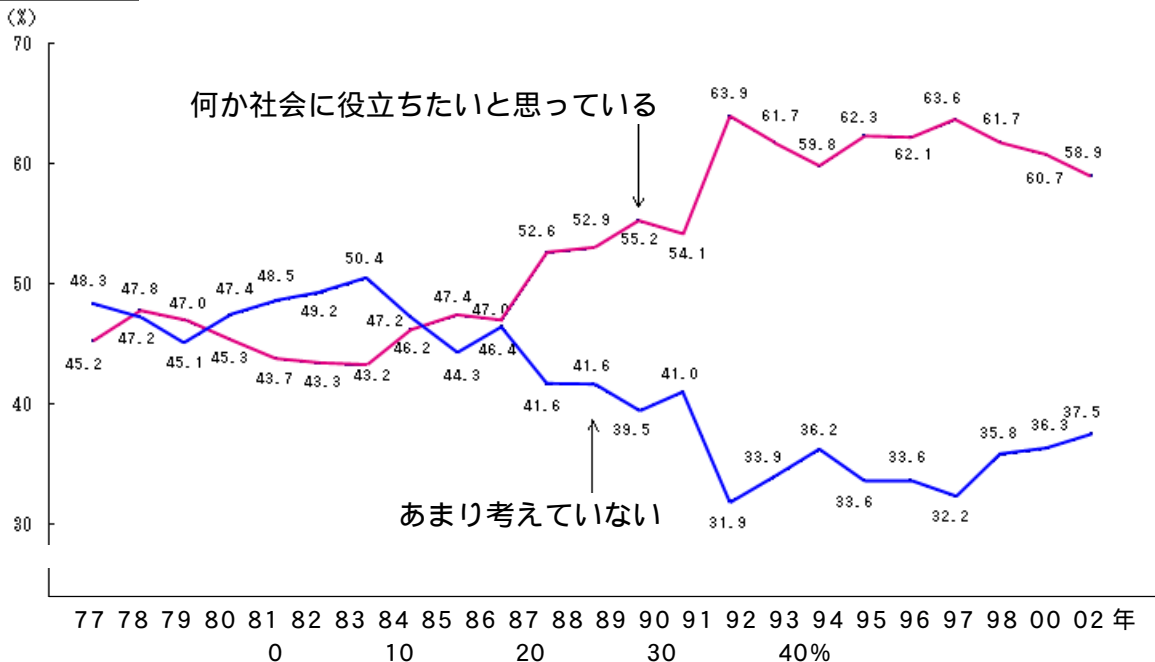
3/10 南種子町(鹿児島県) 高校存続で
下宿費補助などの条例案

南種子町は、95年から定員割れが続いている県立南種子高校の存続を図るため、生徒に対する入学支度金や下宿費補助などを内容とした支援条例案を議会提案した。1年生全員に対する入学支度金3万円、町外からの通学生に対する通学費補助、町外からの入学者に対する月3万5千円の下宿費補助などで、新年度予算として654万円を計上した。

(詳細情報はNEXT編集室へ)

DATA

「社会に役立ちたい」国民意識ややダウン



20歳以上の国民1万人を対象にした世論調査で、社会に対する意識について「国や社会のことにもっと目を向けるべきだ」とする回

答が44.7% (前回2000年調査47.5%) に対し、「個人生活の充実をもっと重視すべきだ」は33.9% (同31.4%)、「一概に言えない」が17.9%で、「社会指向」が低下した反面、「個人指向」の割合が上昇した。

社会への貢献意識については、「社会の一員として何か社会のために役立ちたいと思っている」とする回答が58.9% (同60.7%) に対し、「あまり考えていない」は37.5% (36.3%) と、同様の傾向を見せた。過去にさかのぼると、上のグラフのように、92年をピークに社会貢献の意識がやや下降線をたどっていることが分かる。

左のグラフは、社会貢献を考えているとした回答者の活動分野を示し (複数回答) 町内会などの地域活動が最も多かった。(総務省・社会のあり方に関する国民の意識調査より)

活力ある市街地づくりの取り組みチェックリスト

1 あなた自身と庁内体制を点検する

あなた自身の問題意識と行動を振り返る

取り巻く環境変化のなかで、活力ある市街地づくりは重要課題と考えますか。
市街地において、現在どのようなことが問題になっているか把握していますか。
市街地活性化は、都市計画や商工部門だけの課題ではないと認識していますか。
行政職員として活力ある市街地づくりにやり甲斐を感じていますか。
自ら住民活動組織のメンバーとして行動していますか。

庁内の意識と組織体制を点検する

活力ある市街地づくりは、まちづくり計画に位置づけられていますか。
活力ある市街地づくりの対応（検討）組織やプロジェクトチームがありますか。
他部門に対しても協力支援する風土がありますか。
まちづくりへの住民参加の仕組みについて、充実強化を図っていますか。

2 住民と行政の協働のシナリオを描く

問題を共有化する

活力ある市街地づくりに向けての問題・課題を整理・把握していますか。
活力ある市街地づくりに関係する組織・人材を整理・把握していますか。
その課題について、各関係主体との話し合いの場をもっていますか。

協働のシナリオをつくる

行政職員自ら住民活動に関わり、活動を共にすることがありますか。
シナリオの中心組織や人物が想定でき、行政との役割分担は明確ですか。
地域課題に基づいた活力ある市街地づくりの協働シナリオが描けますか。
シナリオには、分野・組織を越えて参加する住民（組織・人物）がいますか。
シナリオには、庁内関係分野が連携して参加・展開する場がありますか。
活動を展開するテーマが設定されていますか。

演じる人を発見、設定する

活性化のキーとなる人材を確保していますか。
外部からの支援団体や専門家等の協力・参加は得ていますか。
住民やNPOなどの先導的活動を支援する体制は整っていますか。

活動の舞台をつくる

異なった分野の人たちが話し合える場・機会がありますか。
NPOなど住民活動組織が気軽に話し合える拠点（空間）がありますか。
住民が気軽に立ち寄り、時間を過ごせる場がありますか。

3 できるところから実践する

地域特性に応じた実行プログラムをつくる

参加者の負担など無理のないプログラムになっていますか。
これまでの発想の転換、価値基準を変えた展開を考えていますか。
多様な分野や組織を組み合わせ対応するようになっていきますか。

新たな生業や地域ブランドを形成する

農業や観光など他産業と連携した活力向上を図っていますか。
地産地消などの視点で市街地でのイベント等が展開されていますか。
市街地での新たな生業として期待される取り組みが生まれていますか。
NPO やボランティアグループに事業としてのヒントを与えていますか。
地域物産が地域をイメージさせるブランドとなっていますか。

ソフト先行で活力ある市街地を育てる

市街地の歩ける範囲に生活ニーズに対応した機能が配置されていますか。
市街地にまちの顔・拠点となる場がありますか。
市街地にまちの内外の人々が交流できる場が増えていますか。
市街地に福祉の機能が増え、バリアフリーなどの対応が進んでいますか。
市街地に気軽に人が集まる場・施設がありますか。
周辺地域から市街地に集まりやすい交通手段が確保されていますか。

4 活動を継続・発展させる仕組みをつくる

活動を継続させる仕組みをつくる

行政が住民活動をコーディネートする役割をもつと認識していますか。
行政として住民活動など状況を見て的確な支援をしていますか。
活力ある市街地づくりに対して地域内外の支援者を得ていますか。
マスコミに取り上げられ、情報発信することがありますか。
活動展開や事業実施の後、一定のサイクルで点検し、見直していますか。

市民組織・NPO との連携を強化する

市民組織・NPO の分野を越えたネットワークがありますか。
NPO や各種まちづくり組織と連携する体制が整っていますか。
市民組織・NPO と TMO の活動連携は進んでいますか。
TMO によるコミュニティビジネスの事業展開は期待できますか。

総合的なまちづくり組織をつくる

NPO 等を支える仕組みや行政から独立して運営される支援組織がありますか。
市民・企業・行政のパートナーシップを支える地域全体の仕組みがありますか。
住民自治の受け皿となる組織を検討していますか。

(北海道市町村振興協会・調査研究報告書から)